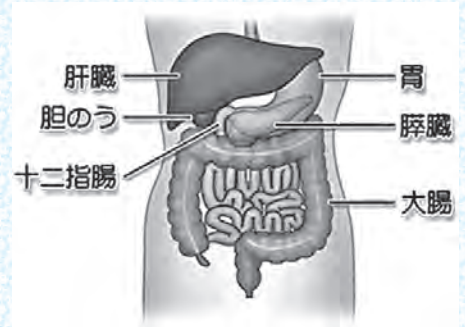




糖尿病とすい臓がん

すい臓（膵臓）はからだの真ん中にあり、胃や大腸、肝臓などに囲まれています。すい臓の病気で良く知られているものとして糖尿病が挙げられます。我々が日々食事をとるときに、食事から得られる栄養素の一部が糖分となり腸から血液内に吸収されてエネルギーとなっています。また、その糖分を有効活用するために調整してくれているホルモンをインスリンといいます。インスリンはすい臓から出ているホルモンです。糖尿病という病気は糖分が体の中でうまく利用できず、血糖値が高い状況が続いている状態のことをいいます。



出典：「ナースアテンダント(病気の知識)より」

糖尿病になってしまう原因としては、食生活や運動不足などの生活の乱れによるものや、生まれつきホルモンが機能しないもの、すい臓に異常があることで発症するものなどがあります。糖尿病は生活習慣病のひとつであり、この病気を持っている人は多いです。一般的には食事運動環境を見直していくことが非常に大切です。

糖尿病の原因の1つにすい臓がんがあります。糖尿病を持っているからと言って必ずしもすい臓がんであるとは限りませんが、糖尿病はすい臓がんの危険因子であり、糖尿病を持っている人が持っていない人と比較してすい臓がんとなるリスクが約2倍とされています。

(表：すい臓がんの危険因子)

すい臓がんの危険因子

糖尿病
すい臓がんの家族歴
遺伝性膵炎などの遺伝性疾患
肥満
慢性膵炎
飲酒
喫煙

すい臓がんは小さい段階では症状がないために早くにみつけることが難しいと言われており、現状ではすい臓がんとわかった時点ですでに進行していることが多く、実際に手術できる早い段階で見つかるものは20%程度とされています。一方で、糖尿病であると新しく診断されたり糖尿病が悪くなったりしたことがきっかけで見えられたすい臓がんでは、比較的早期で手術が可能な症例が多いことが分かってきました。

糖尿病の方で血糖コントロールがうまくいかない方や不安な方は、まずはかかりつけの先生に相談してみてください。

当院では糖尿病の診断・治療は内科で、すい臓がんの診断・治療は外科で行なっております。気になる方はぜひ一度相談してみましよう。

地方独立行政法人さんむ医療センター

内科 ^{たけだ} 武田 ^{えりこ} 慧里子 外科 ^{うすい} 碓井 ^{あさみ} 麻美

文献

膵癌診療ガイドライン 2016年版 日本膵臓学会 膵癌診療ガイドライン改訂委員会編
New-Onset or Exacerbation of Diabetes Mellitus Is a Clue to the Early Diagnosis of Pancreatic Cancer.
Takikawa T, Kikuta K, Kume K, Hamada S, Miura S, Yoshida N, Hongo S, Tanaka Y, Matsumoto R, Sano T, Ikeda M, Iseki M, Unno M, Masamune A.
Tohoku J Exp Med. 2020 Dec;252(4):353-364. doi: 10.1620/tjem.252.353.

☎ さんむ医療センター ☎ 0475 (82) 2521 (代表番号)